

平成三十年度  
硫黄島戦没者慰霊追悼顕彰式  
根本厚生労働大臣追悼のことば  
(天山慰霊碑)

硫黄島戦没者慰霊追悼顕彰式が挙行されるに当たり、戦没者の御霊に対し、  
謹んで追悼の言葉を申し述べます。

苛烈を極めた先の大戦では、数多くの尊い命が犠牲となりました。激戦の地  
である、ここ、硫黄島においては、二万人を超える方々が、祖国を思い、家族  
を案じながら戦い、亡くられました。

最愛の肉親を失い、幾多の苦難に見まわれながら戦後を生き抜いてこられた  
御遺族の御労苦は、並々ならぬものであったと推察いたします。ここに深く、  
亡くられた方々の御冥福をお祈りし、御遺族の皆様方に対し、心よりお見舞  
いを申し上げます。

厚生労働省では、「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」に基づき、御遺族、  
硫黄島協会の皆様、小笠原村の皆様を始め、関係者の御協力のもと、関係省庁  
と連携し、硫黄島における遺骨収集に計画的に取り組んでおります。

今なお、多くの御遺骨が眠っておられるこの地において、御遺骨を一日も早  
く収容できるよう、全力を尽くすことを、ここにお誓い申し上げます。

結びに、硫黄島で激戦を戦い抜いた御霊に対し、改めて心から追悼の意を表  
しますとともに、御遺族の皆様の御平安を切にお祈り申し上げ、追悼の言葉と  
いたします。

平成三十一年三月二十三日

厚生労働大臣 根本 匠